



第 59 号  
川辺一彦後援会  
令和6年 1月吉日

# 川辺一彦後援会だより

R5.10.7 となみ夢の平コスモスウォッチング

令和6年(2024)の新春をご家族の皆さまと共に迎えになりましたことを、心よりお慶び申し上げます。そして日頃より、市議会議員川辺一彦をしっかりとお支えいただいていることに、心から感謝申し上げます。

さて、今年砺波市は新市誕生20周年を迎えます。この間に砺波市では、イオンモール砺波店をはじめとする大型ショッピングセンターが設立され、それをつなぎ合わせるようにアクセス道路が整備されてきたことで、南砺市・小矢部市を含む砺波地域の中心的な都市として発展してきました。しかし、全国的な人口減少は砺波市も例外でなく、これからもその対策に期待がかかります。この20周年を契機として、さらに住みやすく住み続けたい砺波市をめざし、川辺議員は活動していきますので宜しくお願い致します。**川辺後援会長 竹部俊道**

「**散居村とたまわぎの川辺一彦ホームページ**」 <http://www1.tst.ne.jp/k3070/index.html>

## ●JR 城端線・氷見線の再構築計画進展する！

この再構築計画は、JR 城端線と氷見線の事業主体を西日本旅客鉄道「JR 西日本」から「あいの風とやま鉄道」へ経営移管するものであり、2034年(令和16年)3月までの10年間を事業期間とすることで決定されました。

### この計画に盛り込まれている主な事業

#### 1. 新型車両の導入(令和10年までの5年間)

新型車両は現在の24両に10両加えた34両とし、カーボンニュートラルの要請に応えた発電機付きディーゼルエンジンを搭載し、モーターで走る電気式気動車とする。

#### 2. 運行本数の増加とパターンダイヤ化(令和10年までの5年間)

現在、城端線で1日42本、氷見線で1日36本の運行本数を、それぞれ1日60本程度に増やす。それにより1時間に2本程度で運行できることになり、覚えやすいパターンダイヤ(例:00分と30分)の導入を検討する。

#### 3. 交通系ICカード改札機の設置(約2年間)

JR 城端線・氷見線の全駅(導入済みの高岡駅、新高岡駅を除く)19駅に、交通系ICカードに対応した改札機を設置する。

#### 4. 移管に伴う整備(令和6年~令和15年)

乗り心地の改善に向け、古いレールやまくら木等を更新する。

#### 5. 城端線・氷見線の直通化(事業主体の変更後)

JR 城端線と氷見線の直通運転を行うため、高岡駅構内を改良する。

#### 6. 事業費 382億円

施設整備費 342億円 経営安定支援 40億円



【導入が想定される新型車両】



【広く明るい車内】



【無人駅用のICカード改札機】



【有人駅用ICカード改札機】

## ●R5.8月~10月までの議員活動アラカルト！

9月2日(土)  
庄下分団操法県大会優勝



令和5年7月22日開催の「富山県下消防操法大会 ポンプ車操法の部」で、5回目の優勝を果たされた庄下分団の優勝祝賀会。長期間にわたる選手諸君のご奮闘に敬意です。

9月28日(木)  
国体出場選手壮行会



砺波市から、国民体育大会(鹿児島県)に出場する選手・監督の壮行会。選手を代表して、東野尻地区の河合若菜(陸上競技)さんから御礼の言葉。

10月4日(水)  
砺波市・南砺市議会利賀ダム視察



砺波市・南砺市とも関係する「利賀ダム」建設工事を、両市議会合同で現場視察。集合写真の場所は、今後2度と入れない「ダム」の「底地」だということで記念撮影。

10月11日(水)  
砺波市議会議員研修会



昨年、市内21地区で開催した議会報告会での多くの意見・要望を題材として、「市民の声をどう生かすか」という観点で議員自らが考えるという研修会を開催。

後援会事務所は自宅です。いつでもお気軽にご連絡ください。電話・FAX 0763-32-0038  
**これからもご支援ください！**

## ● 砺波市議会のIT化進む！

砺波市議会では令和5年3月からタブレットを導入し、議員間情報の共有化とペーパーレス化に取り組んでいます。18名の議員には、タブレット操作において多少の得手不得手はありますが、議員間で教え合い学び合いながら、少しずつ着実に進歩している状況です。

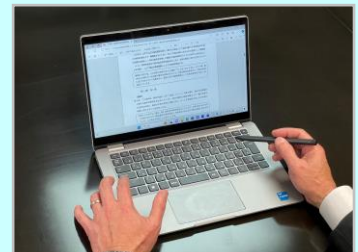
令和5年6月には行政職員の課長以上にもタブレットが導入されたことで、議会における会議の場では双方とも積極的に活用しています。お陰様で12月定例会において、卓上に置かれる紙資料類が少なくなり、庁舎内のペーパーレス化の取り組みも進展しているものと思われます。



【タブレットを活用している常任委員会】



【タブレットを前にした議場内の様子】



【導入したパソコン型タブレット】

## ● 東京砺波会・東京庄川会・近畿砺波会・東京富山県人会！

令和5年度に入りコロナ禍の落ち着きが見え始めたことから、関東圏や近畿圏では久しぶりに富山県内出身者の皆さまがお集いになり、数年ぶりの再会を祝い、懐かしい思い出に浸っておられました。

大義をもって夢を追い求められた方、様々な事情で都会へ出られた方など、故郷を思う気持ちを大切にされるとともに、それをもって日本のためや故郷のために奮闘されているお姿に感動しました。



【R5.10.28 大手町サンケイプラザ】  
【4年ぶりに開催された東京砺波会】



【R5.11.25 東京主婦会館】  
【昨年に続き開催された東京庄川会】



【R5.9.17 ホテルグランヴィア大阪】  
【旧近畿砺波会と旧関西庄川会が合併された設立総会】



【R5.6.6 東京富山県人会】  
【ニューオータニの大ホールには約700名が参集】



【R5.6.6 東京富山県人会】  
【朝乃山関、橋先生、村橋市長、南砺市、高岡市、小矢部市、砺波市の議長】



【R5.6.6 東京富山県人会】  
【東京東野尻会のメンバーとも久しぶりの再会】

## ● R5.10月～12月末までの議員活動アラカルト！

10月23日(月)  
県道砺波福光線現地視察



自民党富山県連政調会のメンバー(県議会議員)が、県道砺波福光線道路拡幅工事の進捗状況を視察。県土木センターへの励ましの言葉と、地区住民のご協力に感謝の言葉を述べた。

11月17日(金)  
東海北陸自動車道全線4車線化



富山県と岐阜県で構成する「東海北陸自動車道建設促進期成同盟会」で、早期の全線4車線化を目指して総決起大会。東京へは両県知事、沿線首長、議長等が参加。

11月19日(日)  
となみ庄川散居村マラソン



3kmの部でスターター役を担った第10回目の「となみ庄川散居村縦断マラソン」は、今回がファイナルです。約2,000人のランナーは環境の良い大会に満足そうでした。

12月11日(月)  
高校生による議会傍聴



主権者教育の一環で、市内の高校生が議会を傍聴。意見交換会では「質問断マラソン」は、今回がファイナルです。約2,000人のランナーは環境の良い大会に満足そうでした。真剣に考えている」との感想あり。